

2021年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門

要項 2

発行日：2021年10月7日（木）

発行者：2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

発行責任者：藤本 拓也（実行委員長）

編集責任者：小竹 佳穂（広報責任者）



はじめに

本要項では、以下の略称・呼称を使用することがあります。

略称・呼称	正式名称
インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技者	「日本学生オリエンテーリング連盟規約」（令和2年5月9日全文改正）第5章によって定められた競技者登録がなされている者
選手権の部	インカレ実施規則第2.1項に定められたミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門
一般の部	選手権の部に出場しない日本学連競技者のための競技部門

開催日

2022年 **1月29日**（土）及び **2月4日**（金）～**6日**（日）

- ・ 1月29日（土）：開会式（Web）
- ・ 2月4日（金）：モデルイベント
- ・ 2月5日（土）：ミドル・ディスタンス競技部門
- ・ 2月6日（日）：リレー競技部門、閉会式

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容の一部変更、延期、中止の判断を行う可能性があります。判断基準等については現在、日本学連にて協議中です。決定次第、要項の改訂を随時行っていきます。

開催地

三重県伊賀市 青山高原周辺

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2021 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

	ミドル・ディスタンス競技部門	リレー競技部門
実行委員長	藤本 拓也 (京都 16)	
競技責任者	田中 宏明 (京都 11)	
運営責任者	増澤 すず (筑波 16)	
コース設定者	築地 孝和 (神戸 13)	加藤 岬 (東京 14)
イベント・アドバイザー	木俣 順 (名古屋 91)	

主管者の連絡先 (お問い合わせはこちらをお願いします)

実行委員会問い合わせ用アドレス (ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通)



[2021icmr_info◆googlegroups.com](mailto:2021icmr_info@googlegroups.com) (◆は@に変更してください)

後援

伊賀市、伊賀市教育委員会、三重県オリエンテーリング協会

大会公式 web サイト



URL: <http://www.orienteering.com/~icmr2021/>

1 競技情報

競技形式／地図仕様

	競技形式／競技区分	地図仕様			
		縮尺	等高線 間隔	走行 可能度	地図表記
2月5日(土)	ミドル・ディスタンス競技	1:10,000	5 m	5段階表示	ISOM2017-2 準拠
2月6日(日)	リレー競技				

パンチングシステム

全てのクラスにおいて、Emit 社の電子パンチング計時システム（E カード）を使用します。

トレイン概要

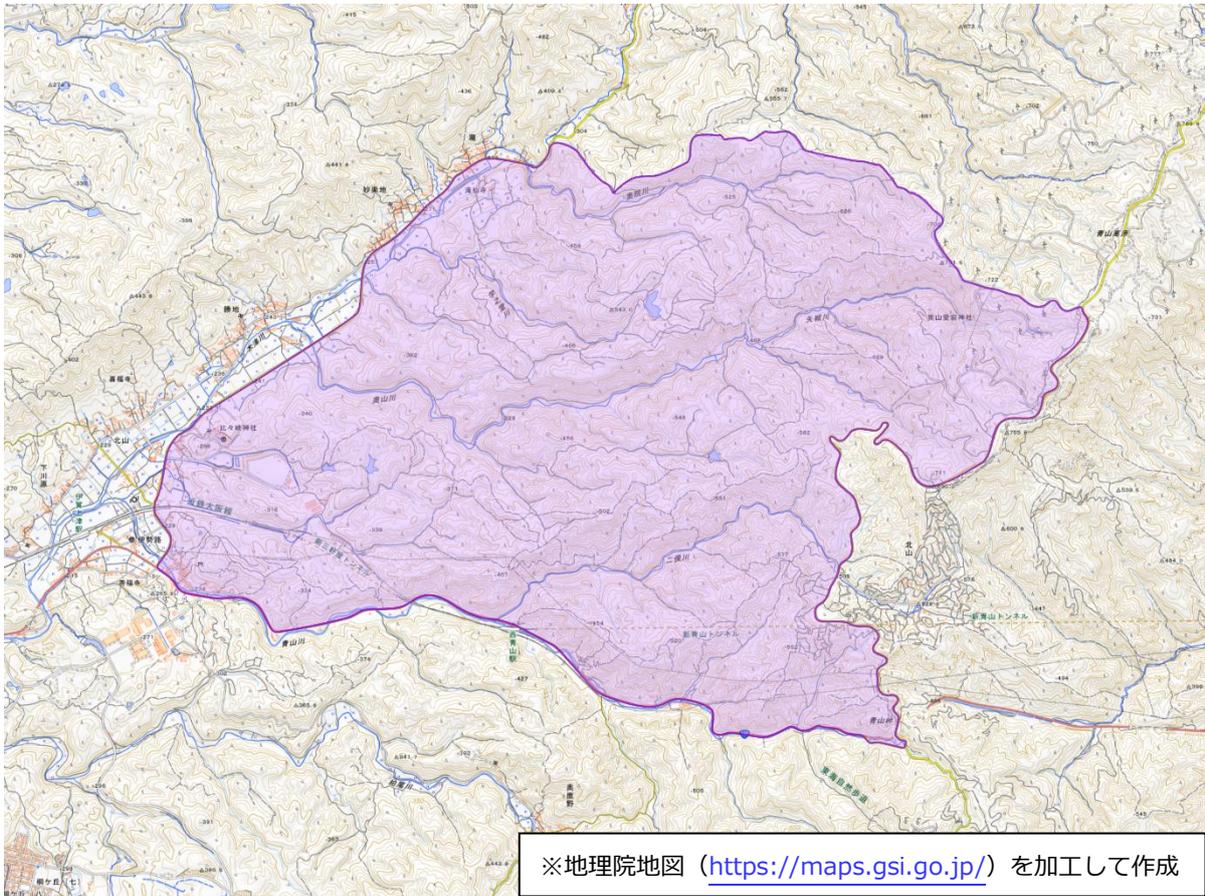
青山高原の西側の標高約 200～450m に位置するトレインとなっています。急峻な斜面、入り組んだ地形が多くみられますが、尾根線・沢線上には比較的緩やかなエリアもみられます。低木によって見通しのきかないエリアがありますが、走行可能度は低くありません。一方で見通しのよいエリアでは一部に倒木による走行可能度の低下が見られます。車道や造成道によってエリアはいくつかに分断されており、小道・小径も発達しています。炭焼き窯に由来する点状特徴物が点在していることも特徴的です。

立入禁止区域・クローズトレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル^{※1}、併設大会参加者^{※2}含む）および観戦を予定している者は、本大会終了までの期間、次ページに示す区域へのオリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立入を禁止します（当該区域使用下でのモデルイベント時、競技参加時を除く）。なお、国道 165 号線、三重県道 2 号線及び 512 号線の自動車による通行並びに近鉄大阪線の利用は妨げません。

※1 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについては p.8 をご覧ください。

※2 本大会には日本学連に競技者登録された者のみ出場可能ですが、一般の方を対象とした併設大会を開催する予定です。詳細は後日発行される併設大会要項をご覧ください。



立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

クローズトレイン

「青山高原」 2011年 京都大学・京都女子大学オリエンテーリングクラブ作成

トレーニングトレイン

本大会ではトレーニングトレインを設けません。

モデルイベント

モデルイベントを、以下の通り開催します。

開催日	2022年2月4日(金)
開催地	三重県伊賀市 青山高原周辺
地図仕様	実際に競技に使用する地図と同一(縮尺・作成基準含む)

ドーピング検査

- ・ 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
- ・ ドーピング検査の対象となった本大会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本大会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参してください。
- ・ 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることとなります。
- ・ 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となります。
- ・ 禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによって 治療使用特例 (TUE) が認められれば、例外的に使用することができます。原則として TUE が必要な大会の 30 日前までに申請を行ってください。
- ・ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査並びに TUE については、日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) の Web サイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認してください。
- ・ ミドル選手権クラス出場者はアンチ・ドーピングの e ラーニングの受講が必須となります。詳細は日本学連からの案内に従ってください。



2

クラスと参加資格

2月5日（土）ミドル・ディスタンス競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間
男子選手権（ME）	35-40分
女子選手権（WE）	35-40分

- 各選手権の優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者とします。
- 優勝設定時間はインカレ実施規則第15.1項に定められた時間です。

◆ 参加資格

以下の2点を共に満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- 日本学連に競技者登録されていること。
- 地区学連枠、もしくは前年度個人実績枠による出場資格を持っていること。

<地区学連枠>

本年度の各地区学連の競技者数配分人数については、2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会ロング・ディスタンス競技部門の終了後、日本学連技術委員会によって決定されます。詳細は、技術委員会による配分人数発表の後要項に掲載する予定です。なお、競技者の選出方法は、各地区学連で定められています。

<前年度個人実績枠>

前年度入賞者は、地区学連枠とは別に選手権の部の出場資格を得ます。ただし、前年度大会は中止であったため、本年度の該当者はいません。

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	参加資格	優勝設定時間
MA	男子上級者	日本学連登録2年目以上の男子	25-30分
MB	男子中級者	日本学連登録2年目以上の男子	
MF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	20-25分
WA	女子上級者	日本学連登録2年目以上の女子	25-30分
WB	女子中級者	日本学連登録2年目以上の女子	
WF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	20-25分

- 申し込み多数のクラスについては、複数のクラスに分割します。
- クラスの選定については、日本学連発行の「[インカレ一般クラス棲み分けに関するガイドライン](#)」をご参照ください。

2月6日（日）リレー競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間 (3人合計)
男子選手権 (MER)	120-150分
女子選手権 (WER)	110-135分

- 各選手権の優勝校をリレー競技選手権校とします。
- 優勝設定時間はインカレ実施規則第15.1項に定められた時間です。
- 男子/女子選手権共に3区間等距離です。

◆ 参加資格

- 各校は男女それぞれ1チームのみ出場させることができます。
- 日本学連に競技者登録されている3名から構成されるチームであることが必要です。

<特例措置について>

選手権の部にチームを構成できない参加校は、複数校にまたがって特例チームを構成し、参加することが可能です。特例措置を希望する参加校は、「特例措置の申請」に従って申請してください。

- 詳細は日本学連発行の「[インカレリレー特例措置に関するガイドライン](#)」を参照してください。
- 特例措置にて構成されたチームは参考記録とし、表彰対象外とします。

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	チーム編成	参加資格	優勝設定時間 (1人あたり)
MAR	男子上級者	男子3名	大会開催時の期間において日本学連競技者であること	25-35分
WAR	女子上級者	女子3名		
XAR	上級者	男女各1名以上を含む3名		
MAS	男子上級者個人	男子1名		
WAS	女子上級者個人	女子1名		
BR	中級者	3名	25-30分	
BS	中級者個人	1名		

- BR/BSの難易度は、ミドル一般の部のFクラス～Bクラス相当です。
- MAS/WAS/BSは一斉スタート方式の個人競技です。
- BRについては、「男性のみで3名」「女性のみで3名」「男女混合で3名」のいずれも可とします。
- 構成員の所属が複数校にまたがるチーム編成も認めますが、各校につき2チームまでに限ります。複数校にまたがるチームも正規チームとして認め、公式記録として扱います。

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。ミドルリレー、どちらか一方の競技のみの出場でも登録可能です。チームオフィシャルは、ミドル競技及びリレー競技の選手権の部スタート地区において、選手のサポート、および各競技前日開催の代表者ミーティングへの参加が可能です。

各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- ・ 男子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
- ・ 女子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
(各校最大で合計 4 名まで登録可能)

※リレー競技の選手権の部に、複数校による特例チームで出場する場合は、特例チームを構成する大学の数だけチームオフィシャルを登録することが可能です。



3

参加申し込み

エントリー期間

2021年12月1日(水)
～2022年1月7日(金)

特別措置申請期間

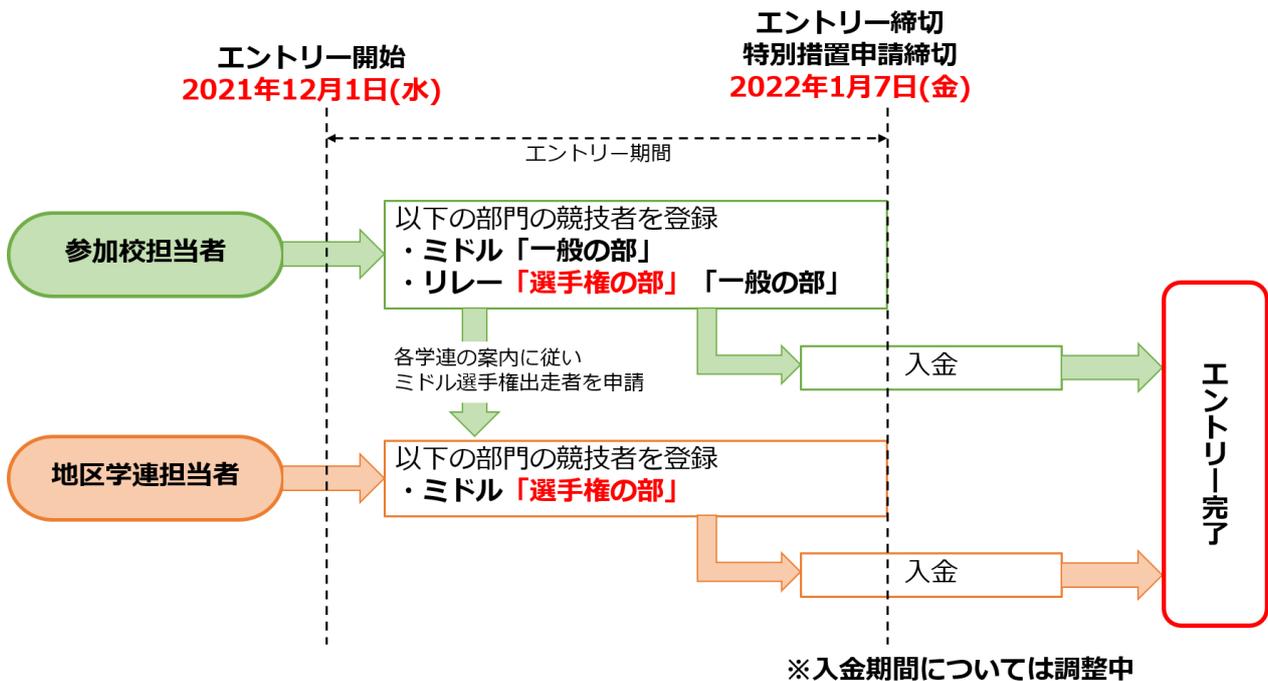
2021年12月1日(水)
～2022年1月7日(金)

入金期間

調整中 (2022年1月以降)

エントリー方法

本大会の参加申し込みは、原則としてインターネット上のエントリーサイトで行います。
エントリーサイトは[大会公式 Web サイト](#)よりアクセスすることができます。



◆ アカウント入手

エントリーサイトにログインするためにはアカウント(ID とパスワード)が必要です。

エントリーサイトに使用するアカウントは、原則、日本学連に加盟登録をした際のものを使用してください。

【上記のアカウントでログインできない場合】

参加校および地区学連の担当者は、エントリー担当連絡先へ「【学校名(学連名)] アカウント希望」という題名でメールを送信してください。1週間以内にアカウントを発行します。

◆ エントリーサイトへの登録

参加校担当者は、ミドル・ディスタンス競技に出場する各選手の参加クラスとリレー競技のクラス別参加チーム数、チームオフィシャルを登録してください。なお、ミドル・ディスタンス競技エントリー時は、「選手権の部」出場有無に関わらず「一般の部」に出場する場合の希望クラスを入力してください。

詳しくはエントリーサイトに掲載予定の申し込みの手引きをご覧ください。

◆ ミドル・ディスタンス選手権登録

各地区学連の担当者は選考した代表選手を「選手権の部」に登録する必要があります。そのためには競技者のエントリーサイトへの登録が必須となりますので、参加校担当者は速やかにエントリーサイトへの登録を行ってください。

◆ 参加費入金

下記の参加費を参照し、地区学連担当者はミドル・ディスタンス競技「選手権の部」登録費を、参加校担当者はそれ以外の合計金額を参加費入金先まで入金してください。

- ・各校担当者：①、②、④、⑤の合計金額
- ・地区学連担当者：③の合計金額

参加費

	項目	単位	金額
必須	① 基本参加費	選手 1人	8,500円
		チームオフィシャル 1人	8,000円
	② 宿泊費・輸送費	2泊・1人	28,000円
追加	③ ミドル・ディスタンス競技「選手権の部」登録費	1人	+1,500円
	④ リレー競技「選手権の部」登録費	1チーム	+4,500円
任意	⑤ Eカードレンタル	1人	+500円

- ・ 宿泊費・輸送費については入金期間開始までに変更の可能性があります。
- ・ 基本参加費および輸送費は参加日数に関わらず同額です。
- ・ 本大会では原則宿泊及び輸送を必須としています。詳細は「4.宿泊・輸送」の項をご覧ください。

- ・ エントリー時には、宿泊日数に関わらず 2 泊分の宿泊費・輸送費を徴収します。やむを得ない事情により 1 泊しかできない選手に対しては、後日返金を行います。詳細は宿泊・輸送手配委託先（日本旅行）と協議中です。
- ・ 本大会の報告書は大会公式 Web サイトでの公開のみとし、販売は行いません。
- ・ レンタル E カードを紛失、破損された場合は 1 枚につき 9,000 円の追加料金をいただきます。

参加費振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：二一八

預金種目：普通預金 口座番号：8294086 名義：イトガ ショウタ

特別措置の申請

「リレー競技選手権の部の特別措置」を希望する学校は、下記に従って申請してください。

◆ 申請方法

- ・ メール件名に「【エントリー】【学校名】選手権リレー特別措置の申請」と記載の上、エントリー担当連絡先へ申請してください。
- ・ 申請期限は **2022年1月7日（金）** とします。

エントリー内容変更

エントリー締切後のエントリー内容変更については下記の通りとします。

- ・ **エントリー追加及び代走は認めません。**
- ・ 欠席することが事前に分かった場合、その旨をエントリー担当までお知らせください。参加費からキャンセル負担金を差し引いた額の返金額と返金方法について、担当から連絡します。
- ・ その他のエントリー内容の変更については、エントリー担当に個別にお問い合わせください。

エントリー担当の連絡先

藤本 雄大（エントリー担当）



icmr2021.entry@gmail.com

（◆は@に変更してください）



4

宿泊・輸送

宿泊について

- ・ 参加者は大会期間中、主管が指定する宿泊施設への宿泊が必須となります。
- ・ **ただし、下宿先、実家、親戚の家などから日帰り可能な方に限り、日帰りでの参加を認めます。上記以外の場合に主管が指定しない宿泊施設に宿泊し、本大会へ参加することは認めません。**
- ・ 宿舎についての詳細は、要項 3 にて発表します。
- ・ **宿泊はコロナ対策のためすべてシングルで予約します。**
- ・ 1泊につき、朝食・弁当がつきます。**夕食はつきません。**

宿泊キャンセル時の返金について

日本旅行と協議中です。

輸送について

参加者は大会期間中の下記期間において、主管が指定する方法での移動が原則必須となります。

- ・ 宿泊施設と競技会場の間を移動するとき
- ・ その他、主管が定めるとき

※モデルイベント会場から宿泊施設への移動に関して、希望者にはバス輸送を行う予定です。公共交通機関を用いて来場される方は申し込まれることを推奨致します。詳細は HP 等何らかの方法でお知らせします。12 月中には募集を開始する予定です（申し込みサイト準備中）。



5

併設大会

併設大会

日本学連競技者以外の一般の方を対象とした併設大会を、本大会と同時に開催する予定です。併設大会詳細については、後日公開予定の併設大会 Web サイトにてご確認ください。

併設トレイル O

モデルイベント開催日にトレイル O 大会の開催が予定されています。参加希望者は後日公開予定の案内に従ってください。



6

新型コロナウイルス感染症対応

実行委員会では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する対応を下記の通り行います。

コロナウイルス対応ガイドラインの制定

本大会において新型コロナウイルス感染症の伝染・クラスター発生を防ぐため、実行委員会では対応ガイドラインを制定します。本ガイドラインを遵守することをエントリーの条件としますので、内容に関しては別ファイルをご確認ください。

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)のインストール義務化

本大会参加者は、厚生労働省からリリースされている新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)のインストールおよび運用をエントリー時から義務づけます。

宿泊施設の部屋の1人部屋への統一

本大会で実行委員会が指定する宿泊施設の部屋は、すべて1人部屋とします。

不泊基準の緩和

下宿先、実家、親戚の家などから日帰り可能な競技者に限り、日帰りでの参加を認めます。上記以外の場合に実行委員会が指定しない宿泊施設に宿泊し、本大会へ参加することは認めません。

実行委員会による参加不許可基準

エントリー後でも、大会当日に以下の基準に該当する場合、実行委員会が参加をお断りすることがあります。予めご了承ください。

<①体温・体調>

前日及び当日の体温が37.5度以上である場合。また、「咳が続く」「味覚・嗅覚異常」「頭痛」「倦怠感」等、新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状が見られる場合。

<②濃厚接触者の有無>

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)により、大会前の直近14日以内に陽性者との接触が判明した場合。また、上記期間の間、同居する家族等の中で感染者が発生した場合。

<③海外からの渡航歴>

大会前の直近14日以内に海外からの渡航履歴がある場合。ただし帰国後にPCR検査を実施し、陰性であった場合は、この限りではありません。

(要項2 おわり)

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構